

山口県におけるデータ連携基盤の共同利用について

1. データ連携基盤とは

- (1) データ連携基盤とは、地域の暮らしを支えるさまざまなサービス間で、必要なデータの連携・共有を安全かつ確実に行うことを目的とする包括的な基盤であり、多様なシステムやサービス間でデータを効率的かつ安全に収集、変換、管理、共有するための統合的な仕組みを指す。
- (2) 類似の仕組みとして、本県ではオープンデータの公開・共有に特化した「山口県オープンデータカタログサイト」が存在するが、当該サイトは、主にデータセットの登録、検索、ダウンロードなどの機能を提供するものであり、上述のデータ連携基盤（以下「基盤」という。）とは異なる性質を有するものである。

2. データ連携基盤の現況

- (1) 山口県内では、下関市、山口市、山陽小野田市の3市において基盤を整備し、それぞれサービスを運用中である。
- (2) 3市で整備されている基盤の概要および提供されているサービスは、別紙のとおり。

3. データ連携基盤の共同利用に向けた基本的な方向性

- (1) 今後、県内自治体において基盤整備の必要性が生じた場合、それぞれの団体において、まずは既に整備済の基盤を共同利用する方向性で検討するものとする。
- (2) 全国には共同利用の受入可能な基盤もあり、まずはそれらの基盤の共同利用可能性等について検討することを念頭に置くことから、現時点において、県として独自の基盤を整備する予定はない。

4. 本県の取組

- (1) 県は、既に基盤整備済の3市と連携し、3市が整備した基盤について、各市町と連携して県内での共同利用を推進する。
- (2) 基盤を保有する県内3市に対し、基盤の仕様情報の公開と相談窓口の設置を行うよう働きかける。
- (3) 今後、県内3市において整備済の基盤の共同利用にあたって必要となる事項を記載する「共同利用要綱」のひな型を定める。

5. 考慮事項

- (1) 県はやまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を、県内市町における、基盤の共同利用を支援する相談窓口として位置付ける。
- (2) Y-BASEで収集・集約・整理した基盤に関する情報は、適宜、県内自治体に対して情報共有を行う。
- (3) Y-BASEにおける基盤の応談にあたっては、デジタル庁の「データ連携基盤の共同利用ガイドブック」に依拠する。
- (4) 本ビジョンは今後の状況変化に合わせて、その内容を柔軟に見直すものとする。なお、見直しにあたっては、必要に応じて適宜「山口県デジタル・ガバメント構築連携会議」において協議・報告するものとする。

以上

1. 県内で整備済みの基盤概要

	下関市	山口市	山陽小野田市
種類	パーソナル	非パーソナル	パーソナル
事業者	アクセンチュア	NTT ビジネスソリューションズ	日本情報通信
所有者	下関市	山口市	山陽小野田市
運営者	—	山口市	山陽小野田市
保守管理者	アクセンチュア	NTT ビジネスソリューションズ	日本情報通信
活用分野	教育、交通／物流、 医療／福祉／子育て	防災／防犯他	医療／福祉／子育て

2. 県内で提供されているサービス

市町	分野	サービス名	サービス概要	データ (非パーソナル)	データ (パーソナル)
下関	教育	きらめきネットコム (学校サービス)	学校と家庭間のコミュニケーションをサポートする教育コミュニケーションサービス 学校からの安心・安全情報をメールなどで受け取ったり、学校ごとのホームページで学校行事や給食の献立を確認することができる。	ー	ー
	交通/物流	しもまち BABY タクシー	出産時や妊婦健診などの際に、専門研修を受けた認定タクシードライバーが自宅などから病院まで、安全・安心・スピーディーに移送するサービス	ー	名前 (姓・名)、 カナ (姓・名)、 性別、 生年月日、 メールアドレス、 携帯番号
	医療/福祉/子育て	ふくふく母子モ (子育て支援サービス)	母子健康手帳の省令様式に対応した項目の記録や管理、複雑な予防接種スケジュールの自動作成などの情報管理機能や、市民に対して、お知らせやイベント・子育て支援施設等の情報を配信できる機能などにより、子育て世代の妊娠～出産・育児までを切れ目なくサポートする。	記事データ	ー
	医療/福祉/子育て	あずかるこちゃん (病児保育予約サービス)	病児保育室の予約をスマホひとつで 24 時間いつでも簡単に申し込めるサービス	ー	ー

2. 県内で提供されているサービス (つづき)

市町	分野	サービス名	サービス概要	データ (非パーソナル)	データ (パーソナル)
山口	防災・防犯他	地図ダッシュボード	複数分野の情報の連携による新たな価値を創造するため、観光分野（イベント情報）や、交通分野（シェアサイクル情報）、行政情報（公共施設情報）などの情報の一元的に表示する。	防災情報 観光・交通情報 子育て・教育施設情報／公共施設情報 医療・福祉情報	—
山陽 小野田	医療/福祉/子育て	スマエジ健康サポート	スマートウォッチを活用し、市民の日々の健康データや生活習慣を記録する。それらのデータを収集、蓄積、分析した上で、健康状態を可視化し、公的な医療・健康情報と組み合わせたPHR（個人健康情報記録）を健康相談・指導に活用することで、健康に対する意識向上、生活習慣の改善等の行動変容を促す。	—	個人情報を含む健康管理に関するデータ